

2026 年 9 月 20 日 (日)
SUPER GT 第 6 戦 決勝
スポーツランド SUGO

決勝結果

12 位

決勝概要

- ・ポールポジションからスタートした大草は、ポジションを守りながら周回を重ね、33 周目にピットイン
- ・後半スティントを担当したフラガは、タイヤのウォームアップに苦しみ、さらに接触の影響で再度のピットインを余儀なくされ、最終的に 12 位でフィニッシュ

コメント

代表：中嶋 悟

「好位置からスタートすることができましたが、残念ながらポイントを獲得することはできませんでした。前半は期待の持てる内容でレースを進めることができましたが、後半は厳しい展開となってしまいました。次戦に向けて気持ちを切り替え、また表彰台目指して頑張ります」

監督：伊沢 拓也

「ファーストスティントは非常にいい形で進んでいましたが、セーフティカーの導入によって、せっかく築いたギャップもなくなってしまいました。マージンがない状況で臨むことになったセカンドスティントでは、ウォームアップに苦しむ中、難しい展開に

してしまったと思っています。途中からペースが上がり、ポジションを上げていけた場面もあったため、このまま進められればと思っていました。しかし、SUGO というサーキットと今回のコンディションが重なり、非常に厳しいレースになってしまいました。セカンドスティントでは、ライバルが前半の内容を踏まえて改善してきた部分もあり、結果につなげられなかったことを非常に残念に思っています。まだまだ足りない部分があるとしっかり受け止め、オートポリスに向けて準備していきたいと思います」

大草 りき

「久しぶりにレースをしたなという感覚はあります。展開としてもトップを走るところを見せられたのは良かったです。周りのチームがどんどん勝って行って、うちだけ足踏みしている状況がとても悔しいです。オートポリスは昨年結果も良かったコースですし、軽い状態で臨めるので結果を期待したいです。ただ、ここのところ運も味方していないところがあるので、そのあたりも含めてみんなでまた準備をし直して頑張っていきたいと思います」

イゴール・オオムラ・フラガ

「大草選手は完ぺきな仕事をしてくれたと思っています。ただドライバー交代が可能になるタイミングで入ったセーフティカーで、マージンを全部失ってしまったことが大きく響きました。今シーズン苦戦している、ウォームアップというところで差がついてしまったなという感じです。いいパフォーマンスを出せるタイミングもあって、だいぶ順位を取り戻した場面もあったのですが、途中でピックアップを拾ってしまったり、接触でタイヤのサイドウォールが切れてしまい、もう一度タイヤを履き替えざるを得なくなってしまいました。悔しい以外のないものでもないですが、パフォーマンスが高くなってきているので、頑張るしかない。悔しいですが次に向けて、努力していきたいと思います」

※次戦は 10 月 17 日・18 日にオートポリスで開催されます。